

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

明けましておめでとうございます。かわら版も足かけ七年目に入りました。今年もどうぞよろしくお願います。さて、今年のかわら版は**弘法大師の生涯**をお伝えします。

## ★五つの名前を持つ弘法大師

弘法大師は**宝龜五年(七七四年)六月十五日、讃岐国(香川県)の豪族、佐伯氏の三男**として誕生しました。**四国霊場七十五番札所の五岳山誕生院善通寺**の近く、現在の**屏風ヶ浦**です。

最初から弘法大師という名前だったわけではありません。幼少の頃は**真魚(まお)**と呼ばれ、その後、**無空、空海、遍照金剛**、そして**弘法大師**と変遷。  
もともと、弘法大師という諡号(しごう)は、**入定(没)の八十六年後、醍醐天皇**から賜ったものです。



宝龜五年(774)誕生 讃岐国善通寺(屏風浦とも)で誕生 父 佐伯直田公、母 玉依御前三男 《覚風寺収蔵》

## ★前途洋々の真魚の出奔(しゅっぽん)

兄二人が幼くして亡くなったため、真魚は三男でありながら佐伯家の跡取りとして育てられました。  
父方の佐伯氏は**国司(武人)**の家系で、古くは**大伴氏**が源流。母方の**阿刀(あと)氏**は**漢学者、儒学者**の家系です。

文武両道の家系を継ぎ、四国の豊かな自然の中で伸び伸びと育ったのが弘法大師の幼少期です。

**十五歳**で都(長岡京)に上京し、母方の伯父、**阿刀大足(あとのおおたり)**氏に師事して漢学を学び、十

八歳で大学に入学しました。

当時の大学は長岡京に**一校**あるのみ。家長の身分が**従五位以上**の子弟でなければ入学できない**官吏養成の最高学府**。真魚の前途は洋々だったと言えます。

当時の教育は**漢学、儒学**が基本。忠孝を尽くして官位を高め、富と名声を得ることが**名誉**とされてきました。

ところが、真魚は立身出世を競い合う友人たちに空しさを感じ、やがて大学を去って出奔。本当の生き方を求めて**山岳修行**に身を投じ、**無空**と名乗りました。



延暦七年(788)15歳 母方の伯父阿刀大足に従って上京 大学の明経科に入学して漢籍を学ぶ 《覚風寺収蔵》

## ★三教指帰と空海誕生

生き方を求める中で真魚は**仏教**に目覚め、**二十四歳**の時に最初の著書、**三教指帰(さんごいうしいき)**を執

筆。人間としての悟りと社会の安寧を求める**仏教の素晴らしさ**を説きました。

この著書は親族に対して書いたものと言われています。将来を期待されていた真魚の出奔への批判に対し、「人間の悟りと社会の安寧を求める生き方がなぜ非難されなければならぬのか」という問いかけでした。こうして真魚は自ら**私度僧(得度)**を受けていない**修行僧**となり、この頃から**空海**を名乗るようになりました。

## ★歳弘法と寅薬師

ところで、日泰寺参道の中ほどに**歳弘法**があります。空海生誕から**入定(にゅうじょう、六十二歳)**までの像が祀られていますので、是非ご覧ください。

**日泰寺舍利殿**の東側には**寅薬師**と呼ばれる**玉壺山覚鳳寺(ぎょっこさんかくほうじ)**。真言宗の名刹です。行基作と言われる**薬師如来**のほか、弘法大師の生涯を描いた貴重な絵が祀られています。

今年のかわら版、歳弘法と寅薬師についてもご紹介させていただきます。

## ★空海、中国(唐)に渡る

さて、来月は**空海三十一歳**での**中国(唐)への留学**。空海はその後の人生を左右する**ふたりの重要人物**と出会います。乞う、ご期待。